

総合計画とは、自治体の総合的・効率的な行財政運営を図るための基本となるもので、まちの将来像や施策の方向性を明らかにする最上位の計画です。健康・福祉、教育・文化、経済・産業、暮らし・基盤、自然・環境などあらゆる行政分野を網羅しており、行政と住民が協力してまちづくりに取り組むための道しるべとなります。現行の「松田町第6次総合計画」の計画期間が2026年度（令和8年度）に終了することを受け、現在「新たな総合計画」の策定を進めています。

●意見追加募集のお知らせ

今回のワークショップの内容である「地域の困りごとについて」「将来も住み続けたいまちにするためには」という2つのテーマについて、意見の追加募集を行っております。下の二次元コードよりご提出ください。



募集期間：～10月31日（金）

将来も住み続けたいまちにするためには

新旧住民が互いを尊重し合い、それぞれの特徴を生かして暮らせる。

幼稚園、小学校の図書館を開放し、子どもと親の集える場を充実。

活気のある商店街をつくる。町外の人にも働きかける。

多世代の交流。若い世代が地域の閉塞感に悩まない自由なまち。

地域のつながり・集い・交流

地域の人が小学校で授業。



若い世代に住んでもらうために駅前開発は欠かせない。

便利

徒歩圏内に買い物できる場所がある。

各種申請や相談がオンラインでできる。



子どもが自然の中で伸び伸びと遊べる。



安全・安心



共働きでも安心して子どもを預けられる場所がある。

病院がまちの医療資源となり、住民の安心を支える拠点になる。

災害時の避難所が複数箇所ある。

多世代にとって魅力的



住民の事業支援。特に若い世代がここで仕事したいと思えるように。

子どもが大人になったときに帰りたいくなるような思い出が作れるまち。

広々としていて、ゆっくり過ごせる公園がある。

高齢者の生きがいを大切にし、活躍できるまち。



緑や花があふれている。

音楽・芸術が楽しめる文化的なまち。町生涯学習センターの活用。

心豊かで楽しい暮らし

空き家を町で買い上げて、移住者に貸し出す。

移住大歓迎



地域ぐるみで転入者ウェルカムの姿勢を見せる。